

令和元年度 学校評価 自己評価書

あま市立篠田小学校

1 総括

(1) 教育目標(学校経営案より)

「あま市教育立市プラン」に基づき、知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指して、「自ら学び、豊かな人間性とたくましく生きぬく力を備えた児童」の育成を図る。

(2) 本年度の重点努力目標

ア 学習指導の充実

- ・ 学習（「読み」「書き」「計算」等）の基礎基本の徹底。
- ・ 朝の読書や異年齢集団による活動、総合的な学習の時間や福祉教育・道徳教育等を通して、他者を思いやることのできる豊かな心と社会性を育てる。

イ 豊かな心の育成

- ・ あいさつや返事、言葉遣いなど基本的な生活習慣を身に付け、人との関わりの大切さに気付かせる。
- ・ 命を尊び（ウサギの飼育活動）、命を守り（交通安全・防犯・防災）、命をはぐくむ（野菜等の栽培）ことを通して、自他ともに健康で安全な生活をしようとする意識を育て、高める。
- ・ 特別に支援を要する児童に対しての支援体制の整備とその活用を進める。
- ・ 行事や諸活動のねらいや意義を明確にし、自主的・実践的な態度を養う。
- ・ 児童会活動を活性化し、異学年との交流を図る中で、自分の役割を意識して行動できる気持ちを育む。

ウ 家庭や地域との連携

- ・ 教育活動について広く家庭・地域に知らせ、情報の公開に努める。学校ホームページの充実に努める。
- ・ 自己点検や学校評価の実施により、保護者・地域からの意見を聞きながら、信頼され開かれた学校づくりに努める。
- ・ 小中連携・小小連携を積極的に行う。近隣の保育園との連携も進める。

エ 多忙化解消に向けた取組

- ・ 様々な情報を教職員で共有しあい、共働して問題解決できるようにする。
- ・ 暖かなことば遣いを意識して声をかけあい、組織としての意識の向上をはかる。
- ・ 在校時間の適正な管理、勤務の割り振り、一斉退校日の設定等により、教職員の健康維持に努める。

2 自己評価の実施体制

(1) 調査時期 令和元年11月19日(火)～12月20日(金)

(2) 調査項目 別紙資料「学校評価アンケート項目」参照

(3) 調査対象 有効回答者数/対象者数

・ 児童	360名/全364名	99%
・ 保護者	187名/全264名	73%
・ 教職員	17名/全17名	100%
計	564名/全645名	

3 調査結果 (別紙)

(1) 学校評価アンケート結果

(2) 学校評価児童学年別アンケート結果

4 考察 (別紙)

5 成果と課題 (別紙)

6 改善策 (別紙)